

## 久しぶりに行動制限のない夏休み！

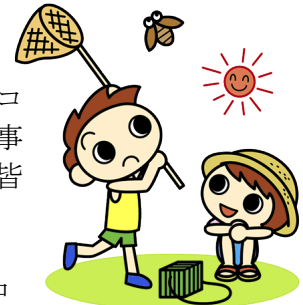
7月21日(金)より、久しぶりに行動制限のない夏休みが始まります。新型コロナウイルス感染症が5類に指定されてから、感染状況を確認めながら、学校行事等を少しずつコロナの状況に戻してきた1学期が終了しました。保護者や地域の皆様に見守られながら、なんとか1学期を過ごすことができました。

さて、行動制限のない夏休み、子供たちはどのように過ごすのでしょうか。楽しい夏休みを過ごしてもらいたいと願っています。「楽しい」といっても、その中身はいろいろあると思います。ゲームなどの「遊ぶ楽しさ」、読書や学習などの「学ぶ楽しさ」、キャンプなどの「体験する楽しさ」などなど。様々な楽しさを味わってもらえればと思います。



ただ、子供たちに開放感もあることと思います。水の事故、交通事故等の事故にも十分注意するようお願いいたします。特に自転車での事故。ヘルメット着用が努力義務となりましたが、ヘルメットの着用がないまま、自転車を乗り回している姿も時折見かけます。自分の命を守るためにも着用をお願いいたします。

そして、8月28日(月)の2学期の始業式。夏休み中に生活のリズムが乱れがちになることもあるでしょう。通常の学校がある日のリズムに戻すには時間が必要です。そこで、始業式の1週間前あたりから、通常の学校がある日のリズムに少しでも近づけるよう一日を送ることをお勧めします。8月28日の始業式には元気な姿を見せてくれることを期待しています。



## リーダー研修会が行われました！

6月10日(土)・11日(日)には、共育委員会主催の「リーダー研修会」が開催されました。この共育委員会は、浜田小学校コミュニティ・スクールの子ども育成プロジェクトからPTAの組織の中にできたもので、地域の子ども会で実施してきた球技大会、リーダー研修会、かるた大会等を企画しています。以前は、子ども会に所属していないと参加できなかった行事が、コミュニティ・スクールの事業にすることで、誰でも希望すれば参加できるようになりました。

今年のように宿泊を伴うリーダー研修会は、4年ぶりとなります。活動の内容から、170人の参加とし、宿泊を考えると、120人が限度となり、1、2年生は日帰りとしていただきました。1、2年生も泊まりたかったようですが……。

1日目は、縦割りグループの顔合わせ・ランタンづくり・段ボールハウスづくり・夜の学校探検・花火などを行いました。2日目は、片付け、反省をして終了となりました。120人もの子供たちが体育館で寝泊まりする姿は圧巻でした。活動はすべて縦割り活動でしたので、5、6年生が下級生の面倒をよく見てくださいました。また、70名ほどの保護者ボランティアの方が時間帯別に活動していただいたり、中学生のボランティア参加もあったりと、子供たちの生き生きとした表情と共に、浜田地区の様々な方の協力体制の素晴らしさが印象に残った行事となりました。



## 灯籠をつくったよ！（1年生）

7月7日（金）、1年生が8月16日（水）に行われる「子ども灯籠流し」に使う「灯籠」を作りました。講師の先生に1年1組に来ていただき、2組とオンラインでつなぎ、灯籠を作りました。

まず、材料が配られると、子供たちは興味津々。まず、紙にマッキーで自分の好きな絵を描きます。マッキーを忘れた子供には、担任の先生が、そっとサポート。絵を描くのに随分と時間を費やしました。次に、船にするスチロール製のトレイの裏に自分の名を書きます。「パキッ！」トレイが割れる音がします。「力を入れすぎるとトレイがわれちゃうよ！」と講師の先生の声。われてしまったトレイについても、担任の先生がサポートします。トレイを表にして表側にも自分の好きな絵を描きます。そして、次はいよいよ難しい場面。約10cm四方の板に絵を描いた紙を貼り付けていきます。「よーく、話を聞いていてね。よく聞いていないと、紙がぐしゃぐしゃになっちゃうよ。」講師の先生がいてねいに子供たちに説明していきます。「できたよ！」「どうやるの？」「うまくできないよ～」いろいろな声が飛び交います。担任の先生が声のする方に駆けつけ、手伝います。そして、最後、紙を貼った板をトレイに貼り付けて終了。完成した灯籠を誇らしげに講師の先生や担任の先生に見せる子供たち。満足した表情が一杯。その姿を見て、講師の先生もほっとしたようでした。講師の先生と担任の先生との息もぴったりの灯籠づくりでした。8月16日の「備前堀灯籠流し」の前に行われる、子ども灯籠流しは自由参加ですが、灯籠を流す子供たちの表情が楽しみです。



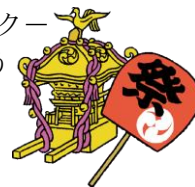
## 浜田小コミュニティ・スクールごぼれ話 ～その1～(元校長の話)



「水戸の黄門まつり」が、まだ下市でも行われていたある年のことです。

子供みこしを出すために、朝、集合場所である駐車場に、観光協会の人が出てきました。「校長先生、子供みこしを中止にしますか？」この年は、大変暑い夏で、翌日上市で行う子供みこしは早々と中止にしたということです。私はとっさに「浜田小の校長として、今日の天気からみて、初めから中止という言葉はありません。始めてみてから、子供たちの様子から体調がおかしくなり、続けるのがダメだと判断したら、その時点で中止にします。」と答えました。観光協会の人にはちょっとキョトンとしていたことを覚えています。そして、3台でいたみこしをかつぐ子供たちの保護者を集めて、「1台につき、先生を2人つけます。今日の天気の様子から、子供たちの体調が少しでも体調がおかしくなったら、その時点で中止にしますので。ご協力ください。」ということをして、みこしをスタートさせました。途中、休憩の時間を多くとり、そのたびに地域の人たちから、団扇で扇がれたり、冷たいペットボトルの水をもってきたりして、なんとか約1キロの道のりを担ぎ終えました。その時の子供たちの満足した表情、キラキラした瞳は忘れることはできませんね。

この子供みこしは、コミュニティ・スクールの一環で、浜田小コミュニティ・スクールの大きな目標は、「子どもたちのふるさとづくり」です。ふるさとの思い出というのは、何もすべて楽しいものだけとは限りません。時には、苦しいことを乗り越えたということも思い出となり、ちょっとしたことの積み重ねで大きな自信にもつながっていくのではないかと思います。



### 【これからの行事予定】

- 7月21日（金）～8月27日（日）夏季休業
- 8月14日（月）～16日（水）学校閉庁日
- 8月16日（水）子供灯籠流し（希望者）
- 8月28日（月）第2学期始業式
- 9月13日（水）PTA奉仕作業

